

技術検定合格証明書 書換申請書

※ 記入不要

技術検定合格証明書の書換えを受けたいので、関係書類を添付して申請します。

令和 年 月 日

中部地方整備局長

殿

住所	(千 ー)
氏名	

(1) 技術検定合格証明書の交付を受けた年月日

年 月 日

(不明の場合は記入不要)

(2) 技術検定の種目、級、区分及び種別並びに技術検定合格証明書の番号
(種別欄は建築2級で区分が「技士」、「第二次検定(技士)」の場合のみ記載して下さい。)

種目:	級:	区分:	種別:	合格証明書番号:
-----	----	-----	-----	----------

(不明の場合は記入不要)

(3) 書換申請の理由

● 本籍の変更

(新 本 籍)	(外国籍の場合は、国籍を記入して下さい。)
(旧 本 籍)	(外国籍の場合は、国籍を記入して下さい。)

● 氏名の変更(ふりがな)

(新 氏 名)	(ー)
(旧 氏 名)	(ー)

● その他

--

ふりがな	
合格者氏名	

(氏名の変更のある方は、変更前の氏名を記載して下さい。)

生年月日	年	月	日
------	---	---	---

(和暦で記載して下さい。)

連絡先電話番号	ー	ー	ー
---------	---	---	---

(日中、連絡のとれる番号を記載して下さい。※携帯可。)

【注意事項】

- ※ 施工管理技士及び技士補は個人資格であるため、技術検定合格証明書の書換は合格した本人のみが申請することができます。本人以外(会社等)の申請は一切受付致しません。
- ※ 『住所欄』は、合格証明書が確実に届くよう本人の自宅の郵便番号と住所を正確に記入して下さい。
- ※ 証明書の氏名又は本籍の書換申請にあたっては、次の書類(有効期限内)を添付して申請して下さい。
- ① 合格証明書の原本 (コピー不可。原本紛失の場合は、別途再交付申請書(様式第8号)の提出が必要です。)
 - ② 戸籍の全部事項証明書(戸籍謄本)又は個人事項証明書(戸籍抄本)の提出が必要です。(コピー不可。)
 - ③ 合格時から現在までに戸籍を複数回移動されている場合には、その流れが全て確認できるように複数の全部事項証明書(戸籍謄本)又は個人事項証明書(戸籍抄本)の提出が必要です。
- ※ 身分証明書(本人確認及び現住所確認用)として、以下の①から⑥のうちのいずれか一つを提出して下さい。
- ① 運転免許証の写し(表面及び裏面) ※現住所が記載されていることを確認して下さい。
 - ② 保険証の写し(表面及び裏面) ※現住所が記載されていることを確認して下さい。保険者番号及び被保険者等記号・番号をマスキング(黒塗り)して下さい。
 - ③ 監理技術者資格者証の写し(表面及び裏面) ※現住所が記載されていることを確認して下さい。
 - ④ 住民票(市区町村発行のもの。個人番号(マイナンバー)が記載されていないもの。コピー可。)
 - ⑤ 住民基本台帳カードの写し(表面及び裏面)
 - ⑥ マイナンバーカードの写し(表面及び裏面) ※個人番号(マイナンバー)を必ずマスキング(黒塗り)して下さい。
- ※ 旧姓併記を希望される方は、旧姓が併記されている以下の書類のうちのいずれか一つを提出して下さい。
- ① 住民票、② マイナンバーカード(表)の写し、③ 運転免許証の写し
- ※ 建築、電気工事及び管工事の申請については、切手440円(簡易書留代を含む)を同封して下さい。
(但し、再交付申請を同時に行う場合は必要ありません。)

書換申請書の記入要領(★印のあるものは必ず記入してください。)

例) 佐藤一郎さん(2級建築施工管理技士 種別 仕上げ)が、名字を鈴木に変更し、本籍地を大阪から東京に移した場合。

様式第7号(規則第10条)

(建築・電気工事・管工工事)

★ 申請先が「中部地方整備局長」となるのは、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県にお住まいの方です。(上記以外の都道府県にお住まいの方は、「交付申請窓口一覧」から管轄の地方整備局等をご確認いただき、そちらへ申請をお願いします。)

★ (2) ○種目
再交付を希望する所持資格種目名を記入して下さい。
例) 建築施工管理
電気工事施工管理
管工事施工管理
○級
所持資格の1級か2級かを記入して下さい。
○区分
所持資格を合格年度別に次から記入して下さい。
<令和2年度以前合格者>
・技士
<令和3年度以降合格者>
・第一次検定(技士補)
・第二次検定(技士)
○種別(建築2級のみ記載)
建築2級で上記区分が「技士」、「第二次検定(技士)」の場合のみ建築・躯体・仕上げを記入して下さい。
○合格証明書の番号
不明の場合は、記入しなくても結構です。
※黄色セル欄はプルダウンより選択して下さい。

● その他
本籍・氏名以外の場合について、具体的に理由を記入して下さい。
旧姓併記のみ希望される場合はこちらに「旧姓併記」と記入して下さい。

★ 合格者氏名
合格者氏名(ふりがな)を記入して下さい。
※氏名に変更のある方は、変更前の氏名

技術検定合格証明書 書換申請書	
技術検定合格証明書の書換を受けたいので、関係書類を添付して申請します。	
※ 記入不要	
令和 3 年 10 月 1 日	
中部地方整備局長 殿	
住所	(〒 100 - 1234) 東京都〇〇区△△ 1-2-3
氏名	鈴木 一郎[旧姓]
平成 30 年 3 月 1 日 (不明の場合は記入不要)	
(1) 技術検定合格証明書の交付を受けた年月日	
(2) 技術検定の種目、級、区分及び種別並びに技術検定合格証明書の番号 (種別欄は建築2級で区分が「技士」、「第二次検定(技士)」の場合のみ記載して下さい。)	
種目: 建築施工管理	級: 2 区分: 技士 種別: 仕上げ 合格証明書番号: A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 (不明の場合は記入不要)
(3) 書換申請の理由	
● 本籍の変更	
(新本籍)	東京都 (外国籍の場合は、国籍を記入して下さい。)
(旧本籍)	大阪府 (外国籍の場合は、国籍を記入して下さい。)
● 氏名の変更(ふりがな)	
(新氏名)	鈴木 一郎 (すずき いちろう)
(旧氏名)	佐藤 一郎 (さとう いちろう)
● その他	
例 旧姓併記	

★ 記入年月日
申請書を作成した日付を記入して下さい。

★ 住所
合格証明書の送付先となるため、必ず自宅の郵便

★ 氏名
合格者氏名を記入して下さい。
※変更のある方は、変更後の氏名
旧姓併記を希望される場合は、氏名の右横に角括弧書きで旧姓を記入し、旧姓が併記されている以下の書類のいずれかを提出して下さい。提出が無い場合は、旧姓の併記ができません。
・住民票
・マイナンバーカード(表)の写し
・運転免許証の写し

(1) 合格証明書の最初の発行日を記入して下さい。
※不明の場合は記入しなくても結構です。

★ (3) 変更箇所のみを記入して下さい。
※変更内容が確認できる添付書類が必要です。
・全部事項証明書(戸籍謄本)
・個人事項証明書(戸籍抄本)
※合格時から現在までに戸籍を複数回移動されている場合には、その流れが全て確認できるように複数の戸籍謄本又は戸籍抄本の提出が必要です。

ふりがな さとう いちろう
合格者氏名 > 佐藤 一郎
(氏名の変更のある方は、変更前の氏名を記載して下さい。)

生年月日 昭和 50 年 4 月 1 日
(和暦で記載して下さい。)

★ 生年月日
合格者本人の生年月日(和暦)を記入して下さい。

連絡先電話番号 090 - 1234 - XXXX
(日中、連絡のとれる番号を記載して下さい。※携帯可。)

★ 連絡先電話番号
合格者本人と日中確実に連絡が取れる連絡先を必ず記入して下さい。

※合格証明書の交付者に係る個人情報(氏名、生年月日、本籍)は、交付、再交付及び書換事務のほか、公共工事の発注者(国、地方公共団体、特殊法人等)における建設業者の資格審査や施工体制の確認等に使用されます。